

事業番号	74	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。
----------	--	------------------------------------	-----------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。						
総事業費							
		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
		うち	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
		国費・県費	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		受益者負担額	3910	3758	3957	3609	3757

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 貸室(工房1)	市民	[手段]				延利用人数 1,537人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	40.5	47.7	45.0	0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで																		福祉の向上を図る
		拡充	維持																	
② 貸室(工房2)	市民	[手段]				延利用人数 120人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	12.7	5.6	10.0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率低下が見られるため、向上のための取組を行う。		
		貸室を利用してもらうことで																	福祉の向上を図る	
		拡充	維持																	
③ 貸室(ITルーム)	市民	[手段]				延利用人数 775人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	15.4	19.3	15.0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。		
		貸室を利用してもらうことで																	福祉の向上を図る	
		拡充	維持																	
④ 会議室	市民	[手段]				延利用人数 3,333人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	62.7	66.3	60.0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。		
		貸室を利用してもらうことで																	福祉の向上を図る	
		拡充	維持																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	74	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。
----------	--	------------------------------------	-----------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。						
総事業費							
		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
		うち	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
		国費・県費	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		受益者負担額	3910	3758	3957	3609	3757

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
⑤ 集会室	市民	[Progress Bar]				延利用人数 13,930人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	87.3	91.5	90.0	0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託な どの運営主体の見直しを検討する。 利用率を維持するための取組を継続す る。
		貸室を利用してもらうこと																	
⑥ 機能回復訓練室	市民	[Progress Bar]				延利用人数 7,407人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	81.4	85.3	80.0	0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託な どの運営主体の見直しを検討する。 利用率向上が見られるが、さらなる向上 のための取組を行う。
		貸室を利用してもらうこと																	
⑦ 歩行浴室	市民	[Progress Bar]				延利用人数 9,389人	年間の延利用者 数	人	開館以来の延利用者 数推移を参考として	10,282	9,389	10,890	0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託な どの運営主体の見直しを検討する。 利用率向上が見られるが、さらなる向上 のための取組を行う。
		歩行浴室を利用してもらうこと で																	
⑧ 福祉浴室	市民	[Progress Bar]				延利用人数 7,318人	年間の延利用者 数	人	開館以来の延利用者 数推移を参考として	7,269	7,318	6,255	0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託な どの運営主体の見直しを検討する。 利用人数の向上が見られるが、さらなる 向上のため取組を行う。
		福祉浴室を利用してもらうこと で																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要